

クレームがゼロにならないと悩んでいませんか？

不良、検査の見逃し、設計ミス、部品不良をゼロにすればクレームを根絶できます

品質クレーム×不良ゼロへのアプローチ

日時 2024年10月8日(火) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗車。4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関で会場ください。

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

10/8 クレームゼロ

お申し込みは <https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	E-mail
氏名	フリガナ 部署・役職	TEL
所在地	〒	FAX
業種	備考	<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247584

開催主旨

コストミニマムでクレームをゼロにする健全な方法/品質事故を根っこから根絶する

2022年、会社の存続を脅かす品質事故が発生しました。しかし、この現象は今に始まったことではありません。高品質とされていた日本のモノづくりにおいて品質事故が多発し始めたのは2000年、今から24年前からでした。そして、その後4～5年周期で品質事故が断続的に起き、未だにゼロにはなりません。

本セミナーの講師は、2000年当時「品質事故」という現象に注目し、その原因の追究と対策をし続けてきました。その結果わかったことは、**品質事故の根源はクレームにある**ということ。そして、**クレームの根源は、不良、ミスにある**ということでした。

本セミナーでは、品質事故の実態、根本原因と対策を解説し、品質事故の予備軍である「クレーム」の根本原因と具体的な対策を、実際に実施してきた事例から紹介します。

具体的には、【クレームゼロ=不良ゼロ×検査の見逃しゼロ×設計ミスゼロ×部材不良ゼロ】という考え方に則り、それぞれの**要因と対策**を示し、具体的な施策を解説します。

そして、これら「4つのゼロ活動」を統合し、万が一クレームが発生した時にも即応できるこれからの時代の「**品質保証体制の整備**」を提案します。この体制は、「**海外工場の品質マネジメント**」にも適用できます。

今、日本の企業ではどこが品質事故を起こしても不思議ではない状態に陥っています。知らないうちにその芽は発芽しているかもしれません。危機的状況に陥る前に「クレームゼロ」を実現し、「品質事故」への根を断ちましょう。

【受講対象者】

- ・品質保証部門、製造、設計、購買の責任者、リーダー
- ・クレームをゼロにしたい方。不良をゼロにしたい方
- ・設計ミスをなくしたい方、部材品質を上げたい方
- ・海外工場の品質を上げたい、クレームをゼロにしたい方

受講特典として、ご希望のいずれか1冊を進呈!書籍詳細は

- ・ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド <https://pub.nikkan.co.jp/book/b10021450.html>
- ・やりたくなる5S新書 <https://pub.nikkan.co.jp/book/b10021196.html>
- ・異物不良「ゼロ」徹底対策ガイド <https://pub.nikkan.co.jp/book/b10021629.html>

講師

株式会社ロンド・アプリウエアサービス **大谷 みさお** 氏

【略歴】日立東京エレクトロニクスに入社し、半導体製造部門に配属。1998年、ロンド・アプリウエアサービスに入社。組立・プロセス産業の現場でコンサルティング業務にあたり、23社で成果を上げる。最近では、従来の改善の限界を打開するひとつの方法として、ものづくり現場でIoT・AIの活用を実践。IoT・AI素人だからこそ、やってわかったポイントの現場展開に取り組む。現場作業者と一体になって取り組む「現場実践型」のコンサルティングを信条とする。

プログラム

1. 品質事故の実態

- 1.1 なくならない品質事故
- 1.2 品質事故の原因
- 1.3 クレームをゼロにするには

2. 不良ゼロの9原則

- 原則-1 不良は結果
- 原則-2 不良の要因は92
- 原則-3 対策は62
- 原則-4 10のツール
- 原則-5 要素別改善
→ 原因がわからなくても、不良はゼロにできる
- 原則-6 現物・現場
- 原則-7 データ分析
- 原則-8 発生工程の見つけ方
- 原則-9 現象の連鎖
「なぜなぜ分析」はもういらぬ

3. クレームにつながりやすい、異物不良、ポカミス をゼロにする

- 3.1 異物不良、ポカミスはクレームになりやすい
- 3.2 異物不良をゼロにするには
- 3.3 ポカミスをゼロにするには

4. 検査で見逃さない: 検査作業改善へのアプローチ

- 4.1 基本的な考え方と7つの施策
- 4.2 クレームの原因
- 4.3 顧客条件の全数検査
- 4.4 検査作業改善
- 4.5 AIによる外観検査

5. 設計ミスをゼロにする: 設計ミスゼロへのアプローチ

- 5.1 設計業務の実態
- 5.2 設計ミスの要因
- 5.3 設計ミスをなくすには
- 5.4 具体的な進め方

6. 部材不良の流入を防ぐ: 購買へのアプローチ

- 6.1 部材の品質を上げるには
- 6.2 やっかいな異物の持ち込み

7. 海外工場の品質マネジメント

- 7.1 海外工場の品質トラブル
- 7.2 海外工場の品質マネジメント

8. 品質保証体制へのアプローチ

- 8.1 これからの品質保証体制
- 8.2 現場の不良ゼロ活動に参加する
- 8.3 検査体制を再構築する
- 8.4 スピード対応
- 8.5 火消し隊
- 8.6 検査情報のフィードバック
- 8.7 早期情報公開

9. まとめ: クレームをなくすには

- 9.1 マインドチェンジ
- 9.2 具体的な活動
- 9.3 品質投資はペイする